養豚界の新品種
ランドレース

「何?!ランドレース、そんな新らしい名の鞄が出て、今年小学校へ入学する子供に買ってやれというのか。」「いやそうではないんだよ。豚の新品種の名前で、何でも早く大きくなって、今までの豚より肉が多く出て、エサが少なくてすむんだそうだよ。」

「そんなうまい話があるもんか、それでは仕事を沢山して飯を少ししか食べない嫁さがしの昔話のようなものじゃないか。」

「それが本当の話なんだよ、今までの豚ではもう古いんだって、新品種を導入して企業としてなりたつ農業、養豚も新らしい時代にマッチした経営でないと都会のものについて行けないよ。」

トンチンカンのこの会話これは今養豚界に一大旋風をおこしている豚の新品種「ランドレース」のことを話しているのです。子供の背負う鞄、ランドセルと間違いられた新らしい名の豚「ランドレース」とはどのような豚なのだろうか。

最近デンマーク式養豚で短期多頭飼育をやり経営の合理化にのり出しているという事をよく耳にしますが、デンマークはご承知のとおり世界に誇る酪農国であり又豚肉によるベーコンの輸出国でもあります。デンマークの肉が世界市場で冠たる地位を誇っている陰には、長年月にわたり種豚の品種改良につとめて優秀品種を作りあげた結果といわれています。こうして改良に改良を加えてできた豚。その名が「ランドレース」です。

この豚の特長は白色垂耳、流線型の豚で、ベーコン豚としてすぐれた体型をもち胴伸でもよく、しかも前、中、後躯のつり合いがよい。頭部は比較的小さく、頬も軽く、顔のしゃくれはほとんどない。肩は軽くてよくしまり、背線は真直かやや弓状を呈し、腿の発育も良好である。皮膚は薄く、肢蹄も丈夫で全般的にみて、改良の進んだ優秀な体型の豚である。といわれています。

この系統の優秀豚を導入して農業収入の増加をはかろうというわけです。

耳が垂れて、頭が小さく、胴の長いこの豚は普通一般農家に飼育されている豚より一カ月から二カ月は、早く出荷できて、厚脂とならないので校肉の取引で値引きがない。胴長で皮が薄く頭が小さいので肉が多く出る。

飼料効果が高いので同じ九十キロの豚にするにも飼料が少なくてよい。という長所を備えています。

現在政府もこの新品種の導入に踏切って、盛に輸入されるようになりました。

岩室村種豚組合も、いち早く導入された与板町と三条市井栗の先進地を昨年七月十五日視察して帰り、岩室村にも優秀品種を導入して行きづまりの農業経営に光明をともそうということになって、昨年八月二十四日種牡豚一頭と種牝仔豚二頭を導入して品種改良につとめることになりました。

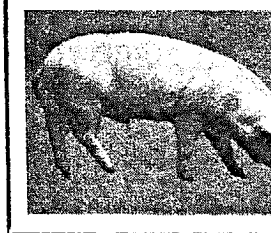
導入されたこの新品種の種牡一頭と種牝仔豚一頭は、和納八区の樋口勝さん、もう一頭の牝豚は西中の竹内以知司さんのもとで現在飼育されています。

成豚種牡は導入されると直ちに在来のヨークシャ種との交尾を始めてその第一号はすでに分娩されており、春までには相当数が生れます。

こうしてヨークシャ種とランドレース種による一代雑種の農民所を生かした優秀肉豚をつくって短期飼育で厚脂にならない枝肉歩当のよい優良枝肉を生産して大いに様ぎまくろうというわけです。

新潟県当局も、この新品種ランドレースの能力試験に三頭を導入し、下田村の県立森町種畜場に飼育されています。

都会と農村の所得格差は開くばかり。跡とりむすこまで農村を飛び出してサラリーマンになりたがっていて、農村は老人と奥さん農業に変りつつあるともいわれている今日です。農村はすでに米作りだけではやってゆけない、米と畜産は車の両輪です。どちらが悪くても農家経済の車は進まない。稲作と畜産による労力配分の均等化、家畜から生産される厩堆肥による地力の増進。クズ米、雑穀、畑作物残りの野菜等を家畜に与えてこれを有効に活用する等輪換的多角経営によって魅力ある農村にするためにもこの豚の特長、長所、欠点、今後の見通し等について仲間同志で話し合って大いに研究してみましょう。詳細は経済課へお問合せ下さい。(写真は飼い主の樋口勝さんと新品種のランドレースの種豚)



ママさんコーナー
(満十、十一カ月〜おたん生まで)

発育

○ひとり立ち、つかまり立ちができる。

○寝ていた赤ちゃんが、自分独りで体をおこすことができる。

○動物に興味を持つ。

○動くおもちゃや、音のでるおもちゃを好む。

○つみ木を散らしたり、あつめたりできる。

○満一年で、生れた時の体重の三倍になる。

育児

○大きい声でそりかえって泣いたりおこったりするのは甘やかされた赤ちゃん、みんなの注目のまとになろうとしているのである。あまりかまっていると、増々ひどくなりカンシャクもちになるので生活環境をかえて、だんだんと治してやる。

○食事の前に手をふいてやると、やがてそれが習慣となる。

○たたみの上などは、ひどくよごれているので、赤ちゃんの手足は度々ふいてやる。

○運動がかっぱつになるにつれて、いたづらもさかんになるが、あまり叱らないこと。研究心から何でもいじりたがり、けいけんをつみかさねて、心身共に発達した子供になる。叱る材料になるようなものを、子供の手許におく親が悪い。

○赤ちゃんだからといって何をしてもよいというのではない。していいことと、悪いことの区別をつけさせる。

○すべて赤ちゃんをあつかう時、相手が赤ちゃんだからといってうそをいったり、ごまかしたりしない。はっきりと本当のことをつげれば赤ちゃんも段々とお母さんを信頼するようになる。これが赤ちゃんを誠実な人に育てる唯一のやりかたである

学級通信

岩室地区婦人学級

岩室地区婦人学級は「子供達のすこやかな成長のために」と題し、「児童の心理発達としつけ」について、県社会教育課中浜主事を講師に講習会を開く。

会場は東、西両校舎で、九日午後一時三十分から。

「我が家の工夫と失敗」及び「国語学習」(かなづかい)の第二回目は、二十三日午後一時三十分から東西両校舎で行ないます。

間瀬地区婦人学級

○国語学習

二十日午後七時から間瀬支所で「新聞、雑誌」に出てくる外来語について学習する。講師は間瀬中学校長遠藤貞次郎氏。

○農業学習

二十八日午後一時三十分から間瀬支所で「種子の発芽」と「保成栽培」について学習する。講師は巻習及所鈴木技師。

和納地区婦人学級については学校側と打合せの上決定し、お知らせ致します。

ラジオ農業学校

十日午前九時より「調理実習」を兼ね新年パーテーを開く。会場は岩室中学校。

二十五日は岩室支所で午前九時から父兄会を開き、午後は「衣生活」と「有畜農学」の訪問を行なう。

あとがき

村民の皆様、すこやかに新春をお迎えのことと存じます。

誠におめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

ついこの前やっと長い冬から解放されたと思いしに、又一つ年をいやでもとらなければならない。

先を眺めると長いようであるが暮れてしまいば短いもの。

迎えた昭和三十八年は、お互いに健康に注意してしっかりがんばろう。

(福田)